

「保健文化賞」

主催：第一生命保険相互会社

後援：厚生労働省 朝日新聞厚生文化事業団 NHK厚生文化事業団

戦後の混乱期、保健衛生の思想や施設が悪化している中であって、それらの向上に取り組む人々に感謝の意を捧げるために創設したのが「保健文化賞」です。昭和 25 年の創設以来、毎年実施され、今年で第 60 回を迎えました。毎年秋に贈呈式を行い、受賞者は翌日皇居に参内して天皇・皇后両陛下に拝謁を賜っています。平成 20 年度は、10 団体、個人 6 名が受賞。これまでの受賞者は 585 団体、個人 301 名に達しています。時代の流れとともに課題も変化し、現在では保健医療、地域保健、生活環境、高齢者福祉、国際保健等、多岐の分野にわたっています。



* 第 60 回保健文化賞(平成 20 年度)受賞者

(敬称略)

受賞者名	都道府県	受賞者名	都道府県
(社)葛飾区歯科医師会	東京都	熊本県食生活改善推進員連絡協議会	熊本県
全国心臓病の子どもを守る会	東京都	(社福)玉医会	熊本県
特定非営利活動法人 難病のこども支援全国ネットワーク	東京都	小林 博	北海道
日本組織移植学会 東日本組織移植ネットワーク、 西日本組織移植ネットワーク	東京都 ・大阪府	大谷 貴子	埼玉県
ムリンディ/ジャパン・ ワンラブ・プロジェクト	神奈川県	高野 健人	東京都
飯伊地区包括医療協議会	長野県	徳永 瑞子	東京都
特定非営利活動法人 愛知視覚障害者援護促進協議会	愛知県	大國 美智子	大阪府
山口県宇部市	山口県	知念 正雄	沖縄県

～保健文化賞の歴史～

昭和 10 年 7 月	結核対策の一助として財団法人保生会を設立	<p>昭和 25 年、朝日新聞東京本社にて開催された第 1 回贈呈式 戦後日本の保健政策に足跡を残す GHQ 公衆衛生福祉局長サムズ准将、厚生大臣らも出席して、朝日講堂にて第 1 回贈呈式がとり行われました。</p>
昭和 14 年 9 月	保生会のすべての施設と事業を結核予防会に引き継ぎ、解散	
戦後	GHQ より、生命保険会社全体で国民保健の向上に寄与する施策を検討するよう依頼があり、社長矢野一郎が第一生命 1 社で実行するよう決意	<p>皇居における天皇皇后両陛下の拝謁を賜る第 60 回受賞者 昭和 34 年、賞の意義が認められ、受賞者は天皇皇后両陛下の拝謁を賜ることになりました。以来毎年、受賞者は皇居に参内しています。</p>
昭和 24 年 6 月	第一生命の社員総代会にて保健文化賞設立を決議	
和 25 年 1 月	保健文化賞設立趣意書を設定	
和 25 年 3 月	厚生省、朝日新聞厚生文化事業団の後援のもと、朝日新聞東京本社講堂にて第 1 回贈呈式を開催	
昭和 34 年 (第 11 回)	10 周年を機に天皇皇后両陛下の拝謁が始まる	
昭和 37 年 (第 14 回)	NHK 厚生文化事業団が後援に加わる	
昭和 48 年 平成 10 年	25 年および 50 年にわたる保健衛生の発展向上に寄与した功績により、厚生大臣より感謝状を授与される	